

[2013-9]

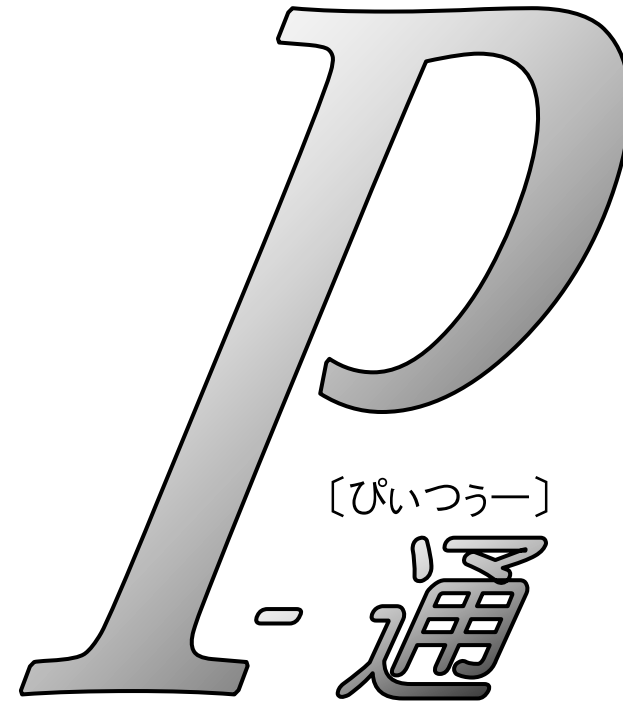
NSG PLATS 通信

9月号 長月/September



CONTENTS

- ★ 今月の”心にひびく言葉“
- ★ 教育 TOPIC
～「学力向上推進フォーラム2013」より～
新潟県の小・中学生の算数・数学、英語の課題とは？
- ★ NSG PLATS から
- ★ 9月予定表



各教室の授業スケジュールは
教室紹介のページからご覧ください。

今月の
”心にひびく言葉”

成功したければ、成功への願いが、
失敗への恐れよりも、強くなければいけない。

ビル・ゲイツ(1955年10月28日～)の言葉

マイクロソフト社の共同創業者・会長。コンピュータの基本ソフトである、Microsoft Windowsを開発し、1990年代後半には基本ソフトの売上高で世界1位となった。現在は、会長職にとどまるものの、第一線からは退き、途上国のエイズ、マラリア、結核の根絶や教育水準の改善などに尽力している。成功への強い願いがあったからこそ、世界1位という結果につながったのですね。みなさんも、成功する自分を強く思い描き、何事にも取り組んでいきましょう！



NSG PLATS

えぬえすじーぶらっつどとこむ

<http://www.nsgplats.com>

◇◇教育TOPIC◇◇ ～「学力向上推進フォーラム2013」より～ 新潟県の小・中学生の算数・数学、英語の課題とは？

先日、新潟県のホームページに「学力向上推進フォーラム 2013」の実施状況が掲載されました。この「学力向上推進フォーラム」は、新潟県内の小・中学校の教科主任の先生が参加し、「全国学力・学習状況調査」の分析や新潟県教育委員会が行っている「Web 配信問題」の実施状況から、学力向上を推進する様々な方策について協議する場です。今回は、この中で議論された新潟県の小・中学生の課題のいくつかを紹介します。

※「Web 配信問題」
新潟県教育委員会が学力向上のために県内小・中学校に配信している web システム。小学3年生から小学6年生は国語、算数、中学1年生から中学3年生は国語、数学、英語の診断問題を配信。

算数、数学の課題 問い方を変えると正答率も変わる！

Q1: 簡単な場合の比例の関係(平成24年度 全国学力・学習状況調査[小6算数]より)
〔直方体の高さと同体積〕

高さ(cm)	1	2	3	4	5
体積(cm ³)	15	30	45	60	75

高さを2倍、3倍……にすると、体積はどのように変わりますか。

- ①. 2倍、3倍、……になる。 2. 15倍、30倍、……になる。 3. 15倍になる。 4. 変わらない。

Q2: 情報の解釈と数学的な表現(平成24年度 全国学力・学習状況調査[小6算数]より)
〔一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さ〕

タイヤの回転数(回転)	1	2	3	4
進んだ長さ(cm)	157	314	471	628

この一輪車で運動場のトラックを1周するとタイヤはちょうど120回転しました。
トラック1周の長さを求める式を選びましょう。

- ①. 157×120 2. 314×120 3. 120×3.14 4. 157×3.14

Q1、Q2の正答率の状況

	Q1の正答率	Q2の正答率
新潟県	87.2%	57.9%
全国平均	84.8%	60.9%
差異	+2.4%	-3.0%

簡単な比例の基礎を問う問題のQ1では、新潟県の正答率は87.2%と全国平均を2.4%上回っています。一方、比例の基礎を利用したうえで、与えられた情報を解釈して答えるQ2の新潟県の正答率は全国平均を3.0%下回っています。

この例は小学6年生の全国学力・学習状況調査ですが、中学校3年生を対象とした数学のテストでも「方程式の立式」の問題で問われ方が変わることによって正答率が全国平均より下回る事例もあります。基礎を定着させ、基本的な問題を解けるようになることと同様に、問われ方が変わったり、発展的な問題が出題されたりする場合でも対応できるような深い理解を意識して学習する必要があります。また、普段から活用することを意識した授業を行う必要があると改めて感じさせられました。

英語の課題① 「be動詞の文」と「一般動詞の文」を正しく使い分けることに課題！

Q1: 一般動詞の過去の文を疑問文にする問題(中学2年・9月 web 配信問題より)

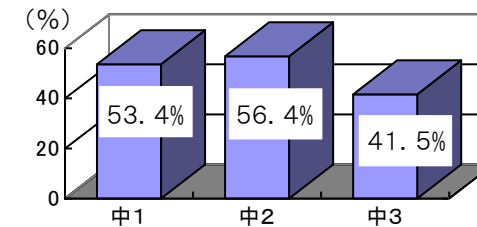
He played soccer. (yesterday を加えて疑問文にしてください。)

→()he()soccer yesterday? [新潟県全体の正答率]45.1%

文頭に was を用いた誤答や played のままだったり、playing に変化させたりしている誤答が目立ったそうです。英語をただ単にパターンとして覚えるだけの学習では本当の英語力が身に付かないことを示しています。be 動詞、一般動詞の使い分けは中1の初期で学習し、その後の学習の骨格となります。しかしながら、中2の9月で半数以上の生徒が間違えていることからわかるように、しっかりと理解しないまま、次々と知識を重ねている実態もあることがうかがえます。

英語の課題② 基本的な単語やその語形変化を正しい綴りで書くことに課題！

■ Web 配信問題での単語の綴りを書く問題の正答率(平成24年度 第1回～第5回)



英語は文法の仕組みを理解しても、正しく発音することができても、単語を正しく書くことができれば得点に結びつかない側面があります。指導する我々も英単語の重要性を再認識し、PLATSの授業時に行う単語テストの大切さを通塾生に再度お伝えしたいと思います。

その他、国語では「目的に応じて、必要となる事柄を整理して簡潔に書くことに課題がある。」(小学生)、「文章を読み取り、条件に応じて書いてまとめることに課題がある。」(中学生)などの課題が示されています。

国語、算数・数学、英語に共通しているのは、公式や基本事項、そして出題パターンを覚えるだけでなく、正しい解答にたどり着くまでの過程や仕組みの理解が欠かせないことです。完全1対1を取り入れたPLATSの指導の特徴を活かしながら、今後もつまづきの原因を見逃さない指導を心掛けていきたいと思えます。

◇◇NSG PLATSから◇◇

NSG PLATSはただ今、**クールビズ対応中**

◆【中3生】 高校入試対策コースのご案内。

夏の教育情報セミナーでもご案内いたしました、前期期末テスト明けの10月よりはじまる入試対策コースのご案内です。通常授業にプラスして受講し、範囲の広い理科・社会や5教科の入試実践力を身につけるためのコースを開設いたします。

★『高校入試特訓コース』

模試過去問演習+1対1の解説授業で、入試実践力を早期に育成するコースです。

★『入試社会暗記・理科暗記コース』

社会科と理科の基礎知識、覚えるまで帰さない！徹底的に覚えまくるコースです。

ぜひ、受講していただき、PLATSを120%活用していただければと思います。受講に関してご不明点等ございましたら、お気軽にご相談ください。